

平成27年度第2回さぬき市高齢者虐待防止ネットワーク会議 会議要旨（要約）

- 1 日 時 平成28年2月4日（木） 14:00～15:10
- 2 場 所 さぬき市福祉事務所2階201・202会議室
- 3 出席者 [委 員] 十河章・山下博史・浅野真紀・六車正徳・藤澤公明・森浩之輔・中西健・  
上乃昌伸・鹿谷洋且・朝倉裕子・間嶋賀津子・矢野勲・葉山茂・高崎通・  
山本孝広  
[事務局] 東直行・國方秀樹・池上博子・高橋真理恵  
[傍 聴] 1名
- 4 議 題 (1) 平成27年度さぬき市高齢者虐待防止・対応における相談・活動状況について  
(2) 平成28年度さぬき市高齢者虐待防止・対応における活動計画（案）について  
(3) 事例紹介
- 5 その他 (1) 意見交換、さぬき署での相談対応状況について  
(2) 委員の任期、次回開催について

6 会議の内容は次のとおりである。

発言者	意見概要
(事務局)	<p>ただ今より、平成年27年度第2回さぬき市高齢者虐待防止ネットワーク会議を開会します。開会にあたり、健康福祉部長よりご挨拶申し上げます。</p> <p>(部長挨拶)</p> <p>さぬき市高齢者虐待防止ネットワーク会議設置要綱第4条に基づき、会長は健康福祉部長が努めさせていただき、本会は会長が議長となることから以後よろしく申し上げます。</p>
(議長)	<p>それでは、これより議事に移ります。</p> <p>まず、平成27年度さぬき市高齢者虐待防止・対応における相談・活動状況について事務局より説明をお願いします。</p> <p>(事務局説明 議題(1))</p>
(議長)	<p>ただいまの説明について、意見質問等ございませんか。</p>
(委員)	<p>今年度は施設等での虐待報告がないことに安心しています。(専門家である)施設職員による虐待はとんでもないことだと思います。他県の入所者が死亡したニュースを見て施設での虐待に不安に感じていました。</p>
(議長)	<p>引き続き虐待が起きないように取り組んでいきたいと思います。</p>
(事務局)	<p>施設には小さな負傷であっても事故報告として介護保険課に報告いただき、県に報告しています。小さな事故に意識を向けることで、虐待に対する意識も変わってきているのではないのでしょうか。</p>
(委員)	<p>民生委員として活動するようになって地域包括支援センターの存在や役割を知りました。まだ一般には認知されていません。高齢者虐待予防の啓発ティッシュに「いつでもご相談ください」と電話番号を掲載したのは良いと思います。今後もさまざまな方向から啓発に取り組んでもらいたいです。</p>
(委員)	<p>虐待では命に関わる緊急の対応が求められることがあると思いますが、相談体制はどうなっていますか。いずれは24時間体制を検討しているのでしょうか。</p>
(事務局)	<p>現在は休日や夜間に連絡いただいた場合、宿直が連絡を受けています。緊急に担当と連絡を取りたい旨を伝えてもらえれば、時間はかかりますが担当と連絡が取れる体制になっています。</p>
(委員)	<p>高齢者に対する虐待は、報告に数字としてどの程度上がってきているのでしょうか。地域で活動する中で高齢者の虐待はなかなかわからない。事務局としては実態をどう捉えていますか。</p>

(事務局)	<p>家庭という枠の中で起きている虐待は発見しづらいです。本人が助けを求められない状況、周囲に気付かれたくない、隠したいという状況も多いと思われます。地域包括支援センターに寄せられる相談はごく一部の可能性があります。地域包括支援センターでは広報誌に虐待について掲載、ポケットティッシュ配布による啓発、各種会議での虐待防止の周知などを続けています。少しでも地域の方に高齢者虐待について知っていただくことで早めに異変に気づき、気になることを相談いただけるような体制を作っていきたいと考えています。</p>
(事務局)	<p>補足します。虐待だと捉えての相談を受けて対応するより、家庭や身内から寄せられた相談に対し虐待の位置づけでの対応が必要となることが多いように感じます。地域住民は虐待と言う認識が取りづらいのが現状ではないでしょうか。困りごとの相談が専門職から見れば虐待の相談になることがあります。色々な形で情報をいただき対応することが、今後も必要と思います。</p>
(委員)	<p>報告される数字では高齢者虐待予防や対応ができているかわかりづらいです。この会議でもさまざまな機関から委員として参加しています。実態を把握できたらよいのではないのでしょうか。事務局も委員も周知を進めていく必要があります。</p>
(議長)	<p>提言や各機関の取り組み実態の報告を今後の事務局の取り組みに生かしたいと思います。</p>
	<p><b>【原案承認】</b></p>
(議長)	<p>続きまして、平成28年度さぬき市高齢者虐待防止・対応における活動計画(案)について事務局より説明をお願いします。</p> <p>(事務局説明 議題(2))</p>
(議長)	<p>ただいまの説明について、意見・質問等ございませんか。</p>
(委員)	<p>研修会についてです。今年度は消費者被害をテーマに研修会を開催していますが、次年度はどういった研修会を計画していますか。</p>
(事務局)	<p>今年度は権利擁護と言う括りで消費者被害に関する研修を実施しました。前年度は成年後見に関する研修を実施しています。来年度の具体的な計画までは検討できていませんが、高齢者虐待について直接触れた内容の研修を企画したいと考えています。</p>
(議長)	<p>研修会や啓発活動の計画は明文化されていますが、今までの活動を踏まえた事務局としての新たな取り組みはありませんか。委員の皆さんにご紹介ください。</p>
(事務局)	<p>認知症は虐待の要因になることが多く、密接な関係があります。認知症の方は今後も増加していくと言われ、国も施策に力を入れています。虐待の予防や</p>

	<p>早期発見にも繋がるため、関連の深い認知症高齢者への対策に力を入れたいと考えています。</p>
(議 長)	<p>平成28年度活動計画につきましては、貴重なご意見をいただき承認されたということで、(案)を取っていただきたいと思います。</p> <p><b>【原案承認】</b></p> <p>〔議題(3)に関する会議資料及び会議録については非公開〕</p>
(議 長)	<p>本日の議事案件については、これを以って終了させていただきます。</p>
(事務局)	<p>その他としまして、事務局からご連絡します。昨今警察から地域包括支援センターに高齢者の情報をいただくことが増えていますが、それ以上に様々な事例に対応されていると思います。警察での対応の現状について情報提供いただけますでしょうか。</p> <p>(事務局説明 その他(1))</p>
(委 員)	<p>相談の中で感じる課題ですが、1つは精神疾患のある子が親を虐待する場合があります。いかに子を迅速な治療や入院措置に繋げるかが課題です。2つ目は認知症高齢者に対する虐待です。家族や関係機関、施設職員等が認知症の理解を深めていく必要があるのではないのでしょうか。総合的に関係機関のネットワークで対応する必要があると感じました。</p>
(事務局)	<p>続きまして、次回委員の選出についてでございます。担当から説明させていただきます。</p> <p>(事務局説明その他(2))</p> <p>本ネットワーク会議の委員の任期は、ネットワーク会議設置要綱の規定により2年とされており、現在の各委員の任期は平成28年3月31日までとなっております。委員の皆様にはご多忙の中会議に出席いただき、また、貴重な御意見をいただきありがとうございました。今後、各委員が所属されます機関、団体等へ後任の委員の推薦依頼をお送りする予定にしております。設置要綱の規定では「再任を妨げない」とされております。</p> <p>続きまして、次回会議の開催についてでございます。</p> <p>次回の会議は、平成28年7月頃に行います。</p> <p>(課長挨拶)</p> <p>これをもちまして、閉会させていただきます。本日はどうもありがとうございました。今後ともよろしくお願ひします。</p>

